

議会だより 第18号

平成22年5月発行

みやこ



もくじ

- * 白石町長お疲れまさでした・議案議決報告 2P
- * 町政を問う・一般質問 3～9P
- * 委員会活動報告 11P
- * がんばっちょーよ！ 12P

卒業おめでとうございます
黒田小学校（3月19日）

平成22年 第2回みやこ町議会定例会議決結果

議 案 名	議決結果	議 案 名	議決結果
訴えの提起(不当利得返還請求権及び年5分の割合による利息の請求権差押えに係る支払い請求事件に関する)	原案可決 (賛成17 反対0)	平成21年度老人保健事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成17 反対0)
暴力団排除条例の制定	原案可決 (賛成17 反対0)	平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成14 反対3)
葬斎場及び霊柩自動車条例の一部改正	原案可決 (賛成13 反対4)	平成21年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成17 反対0)
単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例を廃止	原案可決 (賛成13 反対4)	平成21年度水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成17 反対0)
福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更	原案可決 (賛成17 反対0)	平成22年度一般会計暫定予算	原案可決 (賛成13 反対4)
福岡県自治振興組合を組織する地方公共団体の数の増減	原案可決 (賛成17 反対0)	平成22年度国民健康保険事業特別会計ほか10特別会計の暫定予算	原案可決
京築広域市町村圏事務組合同約の変更	原案可決 (賛成17 反対0)	工事請負契約の締結(三島団地建築主体付帯工事(D棟))	原案可決 (賛成16 反対1)
福岡県市町村災害共済基金組合を組織する地方公共団体の数の増減	原案可決 (賛成17 反対0)	工事請負契約の締結(三島団地機械設備工事(D棟))	原案可決 (賛成16 反対1)
京都郡公平委員会規約の変更に係る協議	原案可決 (賛成17 反対0)	中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書	継続審査
平成21年度一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (賛成17 反対0)	福岡県町村会長と前副知事の贈収賄事件の徹底解明と再発防止を求める意見書	原案可決 (賛成17 反対0)
平成21年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成17 反対0)	核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書	原案可決 (賛成17 反対0)
		日米再編に伴う航空自衛隊築城基地への米軍普天間基地の移転に反対する意見書	原案可決 (賛成17 反対0)

白石町長お疲れさまでした



4月22日、白石町長が退任されました。

白石町長は、合併以来、財政難の中において、いち早く行財政改革、そして協同の町づくりを提唱され

てられました。また、さまざまな難題に取り組みながらも、実績と経験の元、すばらしい政治手腕を発揮され、数々の成果を上げられています。その事は、住民からも高く評価されていました。いろいろな問題に対しても毅然とした姿勢で町政に心血を注がれ、政治姿勢は町内外から大変期待の声がありましたことも事実です。健康上の理由で引かれることはやむを得ないとしても大変残念でなりません。

今後は、お体をご自愛していただき、みやこ町の御意見番として御指導・御鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

自治功労者表彰

肥喜里和隆議長(70歳)が、町村議会議長として7年以上在職し功労があった者として、また、原田和美元議員(62歳)が、町村議会議員として15年以上在職し功労があった者として、全国町村議会議長会及び福岡県町村議会議長会より表彰を受けました。

おめでとうございます。



町政を問う!!

一般質問

弱い立場に立たされて
いるものをいじめるな



直 義 員
野 議
柿

合併して、国民健康保険税は旧3

町のどの税額より高くなり、病気の独居老人の緊急通報装置を有料化するなど、白石町政4年間は、行財政改革を口実に弱い立場の人たちに、しわ寄せをしている。

雇い止めをやめよ

Q 町報みやこ2月号に載った61人もの臨時、パート職員の募集は不安

を呼んでいる。

このような大量の募集はどういうことが説明を求める。

A みやこ町の非正規職員は常勤嘱託45名、非常勤嘱託16名、臨時72名、パート18名の計151名。雇用期間1年の満了に伴う募集。

職を求める町民の声があり、広く雇用の機会を創出するため。専門性を必要とする業種以外を募集した。

Q 募集をしていない職場があるがどうしてか。

A (総務課長) 取りまとめは総務課だが、募集の判断は担当課がした。

継続になるか、替えるかは現場が判断する。

Q 「新しい人が入ってくるというのは自分たちが失業することだ」との叫びの声がある。

毎年の募集で雇止めされると生活できないではないか。しかも、いま最低賃金である。継続した雇用と賃金の改善も必要だ。毎年このような募集をするのか。

町の臨時的職員に関する規則に5年を限度とするところあり、嘱託、臨時、パートの区別がないが。

A 毎年この募集方法でいくと思う。嘱託は5年だが臨時、パートはその規則に当たらない。

失業対策事業を求める

Q 大量の雇用の場をつくれ。少ない雇用の場を求めて争えば、

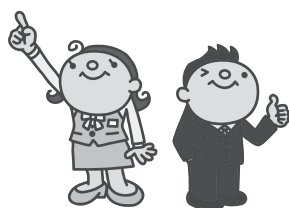
悲惨な結果となる。

町独自の新たな雇用の場をつくり、かつ国や県に働きかけて失業対策事業を大々的に行え。

A 失業対策そのものが、2万人の町の取組む事業かどうか。今こういう時期だから話が出たのではないか。国や県の援助あるいは人的援助が必要だ。

4月から県の緊急雇用創出事業で数名の失業者を臨時職員として雇う。

町民の雇用に対する意見を上部機関や専門機関に上申し陳情していく。



町独自の騒音被害補償を

Q 築城基地の騒音被害地区の要望に応えよ。

毎年2億円近くの基地関連交付金がある。採択要件に合わない分野で

町独自の保障を行うべきだ。

例えば街灯の電気代や個人の電気代、テレビ、電話料等の一部を補助するなどすべきだ。

A 現在、国からは市町村が行う公施設や道路整備費用等に補助金や交付金が出ている。個人には住宅防火防音工事に対する助成措置がある。

それぞれに一定の基準があり、すべてが町の事業に使えるわけではない。集会所の維持費や電気代等さえも国の助成は出ない。

使用範囲の緩和等について地元住民の要望を強く国に申し出ている。

今回の特別交付金の中でみるような意向もあつたがまだ出てこない。

住宅改修工事の完成を急げ

Q 改修することは町長との約束である。約束を反故にする理由は何か。住民の声を聞き入れよ。約束を守れ。

A 住宅管理課で住民と話しあっている

一般質問

開かれた図書館を



馬 勝 中 議員

図書の実と 予算措置は十分か

Q 図書購入費は莫大な費用がかかる。全国に呼びかけ、図書の寄付を募ってみては。

A 予算措置については、図書購入費として1,200万円。財政の厳しい中で図書館に対する重要性をご理解頂いていると考える。

寄贈は常時受付をしているが、新刊として寄贈される図書

は限られている。現況では、全国に呼びかける寄付は行っていない。

Q 図書館利用状況は、近隣市町村に比べてどうか。

A 全国人口の2〜3万人の平均貸出数は約6冊、みやこ町は10冊。近隣市町村に比べても遜色のない状況。

Q 蔵書の内訳（図書の部数は）。

現在の図書で不足しているものはないか。利用者の要望に対応できているか。

A 図書部数は21万1,475冊で近隣市町村に比べ特段遜色はない。

限られた予算を有効活用し、利用者の要望に応え購入する。近隣市町村間の相互貸借制度を活用し、図書館ネットワークの拡充を図り、利用者の要望に対応する。



勝山図書館内

Q 読書を通じて、家族との絆、読書の楽しさや豊かさを育てていくための施策は。

A 子供を対象とした、お話し会、読書まつり、夏休みチャレ

ンジ教室、一日図書館員、図書館見学ツアー、科学の不思議教室等を行っている。

大人には、秋の読書週間、講演会、ビデオ上映、ブックリサイクル、ボランティア養成講座等の交流の場を確保している。

Q 公共施設検討委員会において、指定管理者制度を含めた検討をするようになっているが、どのような状況にあるのか。

A 現在のところ具体的な進展には至っていない。今後、図書館協議会の意見を踏まえ真剣に検討する。

入札制度の刷新 工事発注による 談合防止対策

Q 談合情報の取り扱いについて。

談合は独占禁止法に違反する刑法の談合罪に問われることもある。

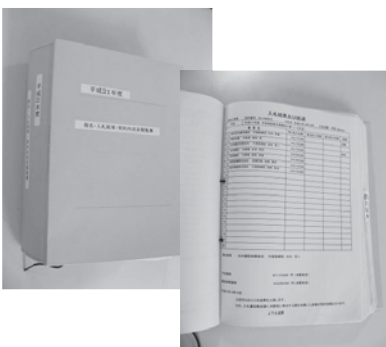
談合して高く落札されれば、

結局、税金の無駄遣いになる。情報どおりの業者が落札した場合は、入札を無効とする制度の導入について問う。

A 情報で得た業者が落札をし、法律に抵触する行為が明らかになった場合は、契約後であったとしても、入札は無効とし契約解除を行うことの誓約書を再度提出させる。

Q 指名競争入札の適正化と行政の透明性確保のために、入札監視委員会を設置しては。

A 本町としては、一般競争入札制度の取り組みも検討中であり、近隣市町村の動向を見ながら入札監視委員会の設置を検討する。



財政課で閲覧可能な入札結果

旧犀川町の駐在員活動への 祝儀は辞退させるべきだ



原田さやか
議員

Q 駐在員の職務は町の事務の連絡を円滑に推進するためであり、日常的に苦勞の多い任務を遂行されていることは重々承知をしている。活動に敬意を表す。その中で旧犀川町だけ駐在員活動に各種団体（農協、土木組合、森林組合等）から祝儀をもたらしている。長年の慣例になっているようだ。

その用途はおおむね飲食に供されているというのが実態ではないか。こういう慣例を改善していただきたい。

各種団体も厳しい財政事情のもとで経費節減に努めている。

しかし、町長といえども農協、土木組合、森林組合には指導する権限はない。駐在員は町長が委嘱をした方々だ。

駐在員活動への各種団体からの祝儀は辞退をするよう求めていただけないか。

こういうことがなくなると真の町づくりはなかなか進んでいかなさう、というのが私の信念だ。

A これらの中身については私どもが把握をした部分がほとんどない。

駐在員会のほうには全体の会長もいるので、そのことを伝える

て、事実がある場合には自粛する方向で検討をお願いするとうことになる。

「国民読書年」の 取り組みは

Q 2010年を「国民読書年」に制定する決議」が2008年6月、衆参両院全会一致で採択された。

「我が国においては、近年、年齢や性別、職業等を超えて活字離れ読書離れが進み、読解力や言語力の衰退が我が国の精神文明の変質と社会の劣化を誘引する大きな要因の一つとなりつつあることは否定できない」これが決議の冒頭だ。

政府広報 | 文部科学省

本に励まされた。

本に感動した。

本に教えられた。

時には、キツいことだって言います。泣かせることだってあるかもしれない。

だけど読み終えたとき、一回り大きく成長した自分がいるはず。

いくつになっても、心は育つことができるのだから。

本は、心を育てる何よりの栄養なのだから。

2010年は「国民読書年」です。

この広報に関するお問い合わせ | 文部科学省生涯学習政策局社会教育課 TEL:03-5253-4111 (代表) | 文部科学省ホームページ <http://www.mext.go.jp/> | 政府インターネットテレビ <http://nettv.gov-online.go.jp/>

今年は国民読書年である。小中学校ではどのように取り組むのか。

A (教育長) 各学校においては朝の読書タイムを設けている。児童生徒が本に興味を持ったためには、特に学校図書館の充実

が必要である。整備充実を図り、利用しやすくするために来年度には蔵書整理、選書、廃棄本の選書等を行う専門の学校図書司書を1名増員する。

Q 図書館ではどのように取り組むのか。

A (教育長) 学校図書と連携協力をし、児童生徒向けの推薦図書リストを作成している。

お話し、子供読書週間、夏休みのチャレンジ教室、ボランティア養成講座、秋の読書週間の行事を継続して実施する。

読書に興味を持つよう事業を引き続き展開してまいりたい。

2010年は「国民読書年」

一般質問

事業費が増大すれば、負担増となる



熊谷みえ子
議員

京築水道企業団の中での検討の結果を問う

いただきたい。

Q 平成22年度出資金でみやこ町は広域化調整額分390万円が増額の3040万円になっている。責任水量（アローケーション）による負担割合と違う。負担増の説明を求める。

A 最終的には水道水源の出資金で調整を行う。

一時負担をして、その後に、返還をするということで御理解



函師配水場（勝山）

町村会汚職事件
二度とないよう
再発防止策を

Q 白石町長は町村会の副会長であるが、裏金接待疑惑の、説明責任を果たすべき。

外部監査・政治倫理条例制定、情報公開などの、県町村会の改革が必要である。

「裏金」接待に端を発した汚職事件は、前副知事と県町村会会長が逮捕・起訴される事態に発展した。いすわりを許すような姿勢、物を言えない町村会のあり方は問題である。

A 架空発注による町村会からの詐欺行為として100万円、市町村振興協会から180万円、280万円が詐取された。

2月12日の公判では、被告が起訴事実を認めている。事実解明に必要な書類が現在も押収されたままであり、裁判の結果を待たざるを得ない状況にある。

町村会では、会務に支障をき

たさせぬように倫理の確立、再発防止、組織の改革、改善に取り組み、信頼回復に全力を尽くしている。



町村会汚職事件の記事

などの名目でプールされてきたのでは。

A 裏口口座の資金を明らかにすべきという質問に対しては、

今後の裁判の中で明らかにされるものと考えている。

町村会としては、できる限りの情報収集を行ない、損害賠償請求等の手続をする予定にしている。

Q みやこ町暫定予算は郡町長会の負担金570万7,000円の予算計上である。

県町村会の負担金を今後10年間は、もらわ

ないでもやっていけるような状況にあるとの発言があった。

A 県負担は20年度、21年度とも38万150円。

※この他、伊良原ダムに関する質問も行った。

Q 住民の税金をつかった汚職事件の原資は町村からの会費など、市町村退職手当組合、消防団員の公務災害補償組合等の、委託事業費などもある。事業関係で余剰金が出れば、きちんと還元をすべき。

政務活動積立金、研修積立金

みやこ町給食センター建設 子供たちに熱々のご飯を



中 尾 昌 廣
議 員

Q みやこ町独自の給食センター建設が予定されているが、いつ頃完成か。

食育と呼ばれて久しいが、あの町は教室ごと炊飯器を置き、お代わりありの熱々のご飯が食べられる。非常に子供達に喜ばれ、体力、思考力が上がった等、大きな成果が出ている。一年を通じて自分達が食べるお米がどのようにして出来ているのか、どんな苦労があるのか、生産者と一緒に学ぶ事で子供達の食に対する意識が大きく変わり感謝の気持ちが芽生えてきた。

今、朝ご飯を食べてこない子供達が非常に多いと聞く。

A 平成23年度建設工事、翌年24年度9月か

何かも一括して作る方式が安全で楽なのはわかるが、熱々のご飯は自校式で、パン、麺、おかず類はセンターで行う事は出来ないか。



給食センター完成予想図

集落支援員事業の 取組みを

ら供用を開始する。
新センターでは最新設備のもと能率的に活動、調理時間、配送時間も短縮できる。

Q 総務省は過疎対策として2008年地域実態調査や活性化

策の提言をする支援員制度を創設し、大分、宮崎県など11府県と65市町村が支援員に委嘱している。

人口流出や高齢化が進む過疎地の集落の巡回や、農地山林の管理状況、世帯数等の調査をし、住民と話し合い、活性化対策等色々な策をアドバイスする。

実際に取組んでいる町は、この制度を非常に高く評価している。みやこ町にはうってつけの制度であり早急に取組んで頂きたい。

今、お年寄り達は腰が悪い、膝が悪い、買物に行けない、病院に行けない、田畑山林等考えられない、町の中が空洞化され一人暮らし、老夫婦だけの家が増加している。

テレビ、新聞紙上でもご承知のとおり、亡くなり何日も経っていた。老々介護の末、疲れ果て悲惨な事件が起きている。せめて、みやこ町から、このような事件があつてはならない。

多目的なこの制度を十分に活用することにより、みやこ町の高齢対策と町起しも兼ねたこの集落支援員事業をぜひ取組んで頂きたいと切に思う。

A 支援員の設置について検討すべきだと言うふうに考えている。

今年は暫定予算と言うことで組んではないので、今後、それぞれ関係課長及び職員で検討させたい。



鐙畑区（犀川）

一般質問

本庁方式への検討を



武田 光雄
議員

Q 合併後すぐに役場の組織を、本庁方式より総合支所方式へと変えて3年近く経つが、住民の声や、配置換えの効果はどの様なものがあるか。

また、この方式の現状と今後考えられる課題は。

A 各支所での機能強化と充実を図る為に取り入れたが、最初には住民や職員にも、一部戸惑いがあった。しかし、1年もしないうちに、順調になってきており、特に地域住民には利便性等

により、定着したように思われる。

今後の課題としては、適正化に伴う職員の削減が、これから進めていく事務事業の見直しや組織機構の整備等とマッチするかが心配される。

Q 町長の見解と、実際に住民から聞く意見とはかなり相違点がある。

「1日も早く本庁方式に戻して欲しい」と言っのがほとんど

である。

次に、現状では、1ヶ月に各支所からどのような様な職員が、どのような要件で何名ぐらい行き来しているか。その所要時間はどの位か。

A 1ヶ月に本庁から支所に行く課長の回数17回、その逆が66回。内容は課長連絡会議や、町長、副町長に説明する重要事業説明等が多く占め、その所要時間は約2時間30分位。

課長補佐と係長は本庁から支所へは74回、その逆が156回。主要業務は急を要する書類決裁、時間は約3時間。

その他、軽微な事務連絡については出来るだけ、メールや電話で処理させている。

Q 総合支所方式への変更後のあり方を幾つか尋ねてみたが、職員の移動時間等を含めた仕事の効率性、そして維持管理費削減、職員削減、等についても課題を残している。また、町政運営にとって重要な課である建設

課、農政課及び教育委員会を、町長のいる本庁から切り離れた現状の総合支所方式を続けていく事は、良策とは思えない。

現状を十分検討していただき、次期町長に引継ぎをお願いしたい。



本庁舎（勝山）

A 勝山の庁舎には、すべての職員、すべての組織が入りきらない。それゆえ、豊津に教育委員会、ダムを含めて事業の多い農林業、建設部門を持っている犀川という形で配置した。

新しく庁舎をつくるならべつとして、今ある施設をどのような

に生かして使うかが、みやこ町の試練と理解していただきたい。

Q それもわかっていて合併したのではないか。

町長が主体になって、現状の施設を最大限に利用して、本庁方式で行くという事で合併を進めた一人ではないのか。



犀川支所



豊津支所

※この他、農業面、教育面に関する質問も行った。

勝山地区に健康スポーツ運動公園の設置を



光吉さわ子
議員

Q 旧勝山町営グラウンドを現「ゆいの郷」用地に変更し、代替地を議会に約束している。その経過はどうなっているか。

A 旧勝山町営グラウンド用地の建替え、代替を議会に約束していることは、言われるとおりだが、現在凍結している。

当時、「ゆいの郷」が計画された際に、庁舎周辺に適地がなく、補助事業の打ち切りなども考えられ、早期の建設が求められたために、やむなく庁舎横の町営グラウンドに建設した経過がある。

合併時に勝山分として、1億6422万円が土地開発基金として継承している。

Q 今、子ども達が、引きこもって戸外に出て遊ばない、友達をつくらない、いじめ等、本当に考えさせられている。健康スポーツ運動公園をぜひつくっていただきたい。

A 旧町の福祉施設も3つあり、100%活用できているか疑問、一定の時期に見直すか検討課題としている。それぞれ児童公園やグラウンドが必要なかどうか、次期町政

に沿っていただきたいと思います。



伊良原ダム建設の見直しを

Q 民主党政権の「ダムによる治水」をと136事業が見直し等の国の検証対象となった。国は計画の中止・見直しを要請した。

「最後は自治体の判断が鍵」などと無責任なことをいっているが、見直し検討はする必要がある。

A 伊良原ダムは必要との認識で、京築地区水道企業団もその考えでダム建設を要請し、引き継ぐ考え。

伊良原ダム関係の周辺整備事業など今後の対応はどうか

Q ダム事業の進捗率と関係住民への補償は。

A 伊良原ダム進捗率は24.1%。678億円が見直し後の総事業費である。

住民への補償で土地は96%。建物90%が実行されている。

Q ダム建設事業費は今後1000億円要るだろうとも言われてきた。93億円の増額・10年延期が突然報告された説明も不十分。計画から40年、ダム本体、道路他すべて残っている。これ以上の負担はごめんだ。

建設分担金の額は。

A みやこ町は、2億6467万円。これ以上の負担はできない。

負担増は、県に努力をお願いするということで、昨年、その約束のもと、この事業費の見直しと負担金について承諾した経過がある。



進む伊良原ダム周辺整備

産業建設常任委員会

委員会活動報告

〈佐賀市「西山田農園」猪肉加工センターほか〉
(1月19日～20日)

「みよこ町猪加工処理施設」の運営形態を学ぶため、佐賀市「西山田農園」を尋ねました。

近年、イノシシ・シカなどの農林産物の被害が全国的に広がっており、官民間わずこの対策のため、捕獲したイノシシ・シカを加工処理、販売するところが増えていきます。みよこ町でも猟友会などと連携し、被害を最小限に食い止める手立てとして、平成21年度事業で、犀川支所の一角に加工処理施設を完成させ、現在、稼働体制に入っています。



「西山田農園」猪肉加工センター

〈その他研修先〉

◎農産物直売所「マツちゃん」・・・民間の直売所で、年間約7億円もの売り上げを上げていると聞きます。福岡市と佐賀市を結ぶ「三瀬トンネル」の佐賀市側の出口付近にあり、連日も多くの人で賑わいを見せ、一帯の地元生産者は大いに活気づいています。

◎日田「九州ウッドマテリアル」・・・木質バイオマスを発電燃料とする九州で唯一大規模施設

◎八女「べんがら村」・・・温泉施設にバイオ燃料(木質チップ)を導入しコスト削減を図っている。



「べんがら村」温泉施設にバイオ燃料(木質チップ)

文教厚生常任委員会

〈おおき循環センターくるるん〉(1月14日～15日)

日本で2番目にゼロ・ウェイスト宣言「もったいない宣言」をしたのが福岡県大木町です。

日本で最初のバイオマスタウン事業として、生ゴミ、し尿、浄化槽汚泥からバイオガスと液肥を作るプラントで、廃棄物「ゼロ目標」に取り組んでいます。ゴミを資源として、活かす循環の町づくりの拠点としてエネルギーや有機肥料として地域の中で循環活用しています。

迷惑施設として片隅に押しやられていた施設を町の中に配置し、集客を見込める観光施設や町民が集いあう施設として建設しました。

私達は今、大きな岐路に立たされています。

これまでのような使い捨ての生活を続けるのか、それとも限

りある資源を繰り返し使う無駄のない生活スタイルを取り戻すのか、使い捨ての社会はすでに限界を迎えています。

みよこ町としても時代の流れに乗り遅れないためにも十分検討する必要があるのではないかと考えます。

なお、二日目は、佐賀県三養基郡基山町の学校給食現場を訪れ、当町が2年後、単独で給食センターの実施を目指す上から、施設関連の長所、短所などについて説明を受けました。



バイオガスプラントで作られた液肥

総務常任委員会



研修風景（アーカイブズ館にて）

みやこ町は合併してから、旧町の文書管理まで手が回らない状況があります。そのため、文書管理の取組みについての先進地である天草市を訪れ研修を行いました。

2009年6月、公文書等の管理に関する法律（公文書管理法）が制定されました。国の機関に関する公文書の管理方法を規定するものですが、自治体に対しても条例化などによる対応が努力義務とされています。今後、みやこ町も必要性が高まることと思います。

天草市は、合併当初からアーカイブズ条例を制定し、公文書の管理を一元化する方向で取り組んでいます。

公文書管理法は「歴史的事実の記録のみでなく健全な民主主義の根源を支える知的財産として、主権者である国民が主体的に利用していくことにある」とし、国民の「知る権利」を保障することが前提にあります。

将来の国民に対しても知る権利を保障することを意図しています。

なお、翌日には天草歴史民俗資料館・天草ロザリオ館・コレジオ館を訪問しました。

〈熊本県天草市 天草アーカイブズ館ほか〉
(11月5日～6日)

基地対策特別委員会



新基地建設反対のテント村（辺野古）

嘉手納町は、第二次大戦前、北谷村（現北谷町）の行政区画でしたが、米軍嘉手納基地の構築により、村域が分断。昭和23年、人口3879人をもって、分村しました。

総面積15.04^{km}の約83%に相当する12.46^{km}が、米軍基地となっています。

そのため残されたわずかな、2.58^{km}の狭い地域に1万3700人余りの町民が、ひしめき合った生活を余儀なくされており、生活環境をはじめ、都市基盤の整備や産業の振興を進める上で、大きな制約となっています。

実際、住宅地区と道路一本隔てた基地滑走路では、数分おきに米軍の飛行機が、離発着を繰り返しています。

この様な民家の間近で基地運営が行われている、良いものではないかと。

しかし、基地内で働く人々は数千人。現在では、沖縄市あたりからも来ています。

道の駅「かでな」には滑走路が一望できる展望レストランがある等、基地と共存している面も多く見ることが出来ます。

沖縄と九州という地域差があります。が、同じ基地をかかえる町として、これからの自分たちのあり方を考える良い機会になりました。

〈沖縄県嘉手納町（嘉手納基地）〉
(2月3～4日)



道の駅「かでな」から見た嘉手納基地

広報特別委員会

毎年、福岡県自治会館にて行なわれている広報研修会に、広報委員6名全員で参加して多くのことを学びました。

内容は「読まれ、親しまれ、役に立つ『議会広報』のために」という演題でした。

事前に提出された「各町村の議会だより」を例にあげて、良い所、悪い所を細かくアドバイスされ、とても勉強になりました。

この研修で学んだ事をいかし、みやこ町の「議会だより」も今以上に充実させなければと強く感じました。

翌日は佐賀県の白石町の広報委員会の方々と研修交流会を行いました。

学ぶ所あり、教える所ありで、それぞれの持つ課題について話し合い、あつという間に予定時間が過ぎました。

私達は、「親しみやすく、読みやすい」広報誌を作るために、町内は勿論、得るものがあると思えば、町外にも出かけ研修を重ねていきます。



佐賀県白石町での交流会

〈福岡県町村議会広報研修会参加、及び佐賀県白石町との研修交流を行なう〉
(11月24日～25日)



ハーモニー・フェスタ 2009

私たちは、平成元年9月に豊津校区婦人会員の有志により立ち上げ、現在31人で活動しています。

童謡を愛する会(豊津)

がんばっちょーよ!!

中尾幸恵先生や緒方和美先生にご指導いただき、歌が少しずつですが、上手になるにつれ、多くの人に聞いて欲しい、また昔懐かしい童謡と一緒に歌ってほしいとも思うようになりました。

平成九年の11月には東京芸術大学音楽部の先生や学生さん達と一緒に活動する機会に恵まれ、私たちの歌や音楽に対する考えが深まってきたように思います。以来、毎年一緒に活動させていただき、私たちの励みにもなっております。

今年で22年目になり、お陰で会員も増え、施設慰問や学校訪問、町内外の行事への参加と、活動の幅も広がってきましたが、寄る年波には勝てず、なか



練習風景

なか歌詞やメロディーを覚えることができず苦労しています。週一回の練習日に皆さんとお会いして、思いっきり声を出し、雑談をすることで心と体の健康が維持できていると思っています。

緑豊かな豊津の丘で、幼い頃、母や祖母の背中中で、子守唄がわりに聞いた童謡が、だんだん忘れられているのを次の世代の子ども達に歌い残していきたいと思っています。

ぜひ、みなさんも一緒に歌ってみませんか。参加をお待ちしております。



楽しい休憩のひと時

連絡先

中村 慧子
会 場 豊津公民館
練習日 毎週水曜日10時から
会 費 一ヶ月1,000円

議会広報 特別委員会

委員長 武田 光雄
副委員長 田中 巳夫
委 員 長 中村 義直
" " 熊谷 みえ子
発行責任者 肥喜里 和隆

発行日：平成22年5月1日
発行：みやこ町議会

〒824-0892
福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地
TEL0930-32-2511 (内線 301・302)
FAX0930-32-4563

編集：議会広報特別委員会
印刷：(株)日報

議会傍聴においで下さい。

※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。

6月の定例会は、日程が決まり次第、ホームページ・防災無線等でお知らせします。

編集後記

一雨ごとに、木々の緑も濃くなっています。どこかでトラクターの音が聞こえてきました。やがて、忙しくもあり、楽しくも感じる田植の季節がやってきます。

さて、わが町が合併して、節目の5年目になりました。「合併で役場が不便になった。利用料は無料から有料になった」との声に、議員の1人として、心が痛みます。

また、多くの若者や子育て世代、高齢者は生活不安や失業といった深刻な問題をかかえています。

こうした中、4月の選挙で、井上新町長が誕生しました。

選挙戦を通じて、多くの町民の願いを聞いたものと思います。

町民の抱える問題の解決のために町政を舵取るよう、強く願いたいものです。

議会の一員として、しっかりと働きかけなければと気持ちを新たにしています。

(柿野)